



NO.1383

9月25日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三・四四五八
F 四三二・四四五七



網走市議会

最終処分場あと2年半

網走市議会14日の一般質問で近藤議員が「最終処分場があと2年半でいっぱいになる」という資料があるかないか質問し、市は「資料は存在しない」と答弁しました。しかし、数時間後に市は資料があることを認め、翌日、資料を提出した上で「2年半延命できる資料があった」と説明し、謝罪しました。

近藤議員が緊急質問

近藤議員は、提出した資料はあと2年半で満杯になる資料だったことを指摘し、「前日の資料はないとの答弁は虚偽答弁」だとして、水谷市長に説明を求めました。水谷市長は資料がないといったことに

信頼性を欠く市政運営に対し、

基本条例に立ち戻れと決議!

網走市議会は15日、「市議会基本条例に沿った対応と説明を求める決議」を採択しました。

今年3月の予算議会で「市民の信頼、議会の関係性を損なう事案が頻発、市長と議会の相互信頼の醸成を念頭に市政にあたること」とした附帯意見をつけました。しかし、最終処分場問題に関わり、ごみ広域化協議会を設立するなどの対応は信頼性を欠くものです。決議では、以上の経過と要因を速やかに説明するよう

あつてはならないことと謝罪の弁をしましたが、自らの監督責任については語りませんでした。

透明性に欠ける市政運営

議員の質問に対して都合の悪い資料は出さないという市の姿勢が浮き彫りになりました。議会と市の信頼関係が崩されています。

市はごみ問題を始め、議会が求める資料を示した上でしっかりと議論し、市政を進めなければなりません。



求めています。

市議会基本条例を尊重せよ

市議会は条例で「行政の監視と地域課題の発掘や政策立案・提言を積極的に行うことにより、豊かで住みよいまち」をつくるとしています。

決議では、網走市は議会との信頼関係を再構築に務めるとともに、正確な情報を議会に示すことを留意して市政運営に当たることが求めています。

後段の「奮戦記」



先週の「奮戦記」の後段で「9月議会が終れば市長選挙がある」と

ので、何とか対立候補を立てたいと思っております」と書いたことから「共産党が市長候補を立てるのですか」との質問がありました。私の記事が丁寧さに欠けていたため誤解を生じてしまい、申し訳ありませんでした。正しくは、「保守の方も含めて対立候補を立てたい」という思いを書きたかったものです。誤解を招く表現をしたことに、お詫びを申し上げ訂正させていただきます。まことに申し訳ありませんでした。

さて、第3回定例会は想定外のことか幾つか起こり、何かと振り回されましたが、決算審査特別委員会も22日で実質上審査は終了します。26日に総括審議とりまとめ、27日の本会議では、決算審査特別委員会の委員長報告があり反対・賛成の討論を行い、起立による採決をして、全ての日程を終了する予定です。

村ちゃん



9月議会の決算審査で保育所入所者数について質問しました。網走市全体では

2年前から幼稚園より保育園の方を希望する人が多くなっている、定員を超えて受け入れる園もある状況です。定員の120%まで認められているといえます。そんな中で園が受け入れた子が多動で手が回らず、保育するのが難しいと言う例があった事について質問したところ、市は園と相談し対処していると言います。しかし、保育園側の都合から途中で通園を断るなんて事はあつてはならないことです。

市はこの間、保育園を無くして認定子ども園をつくり、民間に保育をまかせて来ましたが、その影響が出てきているといえます。今はひまわり保育園だけが公立保育所です。

保育士の低所得と少人数で保育しなければならぬことが、楽しい保育園にしたい保育士の夢と子どもたちの可能性を奪っているのではないのでしょうか。

流水

▼夏が終わり静かに風が秋を告げてきた。19日は敬老の日、全国で100歳を超える人が9万人をこえたと報道している。コロナ禍は、自公政権の無為無策で、多くの高齢者が感染し命を奪われた。▼

10月からは75歳以上の窓口負担が2割に引き上げられる。年金は年々引き下げられる。通院を控えては手遅れとなる。知人は体調が悪く3日も食事が取れずに病院に行くも受診した次の日に亡くなった。早く行けば命は助かったと言われ悔やまれる。身体に自信の私、急な膝の痛みに通院、『偽痛風』と診断される。散歩も出来ず図書館で本を借り乱読する。膝の腫れ痛みが消える迄に10日も罹った。「自分は若いと思っているが十分年寄りなんだよ」と、妻が言う。▼天高く秋晴れで知床連山が美しい。久しぶりに天都山の流水館展望台に登ると、「あのなだらかな山は何という山ですか」と聞かれる。藻琴山に指をさす同年代の3人組は広島県から百名山の為に来道、昨日は斜里岳、一昨日は羅臼岳に登山、生まれて初めて野生のヒグマを見たこと興奮して話す。「明日は雄阿寒岳、何時まで元気で居られるか、好きな登山を楽しむ」と、日に焼けた顔で笑っている。元気をもらった!!

アスリート命